

工事検査における主な視点

農 林 工 事

1) 契約関係の書類等

(確認事項)

- 一連の書類が滞りなく提出され、漏れや記載ミス等がないか。
- 工期始期日以降30日以内に工事着手しているか。
- 下請けを含め社会保険等の加入状況が確認できるか。
- 安全教育・KY活動について、下請業者も含め実施しているか。

(下請工事)

- 施工体制台帳添付の下請契約書に工事内容が具体的に記載されているか。
- 施工体制台帳、施工体系図を下請業者が増える度に更新しているか。
- 下請工事完了検査を実施したことが確認できる書類を作成しているか。

(工事記録)

- 工事着手前に設計図書の照査を行い、工事記録に残しているか。
- 現場不一致等の協議は、測量結果を添付する等問題点を具体的に記載しているか。
- 既設測量鈟の確認や仮BMの設置、境界確認等の事前測量結果を報告しているか。
- 実務要覧の管理基準に定めのないものは、監督員と協議しこれを工事記録に残し、施工計画書に明記しているか。

(施工計画書)

- 施工計画書は、それぞれの現場の条件や特殊性を反映した内容となっており、品質や精度を高めるための留意事項や配慮事項等を記載しているか。
- 新たな工種が発生した場合や施工方法に変更が生じた場合は、施工計画書により当該部分の承諾を受けてから着手しているか。
- 主要機械は、受注者が任意に使用する機械も含めて記載しているか。
- 施工方法は、全体フロー図、工種毎フロー図を用いる等、分かりやすく記載しているか。
- 現場打ちコンクリートにおける養生方法と養生期間を記載しているか。
- 寒中及び暑中コンクリートの適用が予期される場合、その対応方法を記載しているか。
- 仮設備計画は配置図を用いる等、具体的に分かりやすく記載しているか。
- 施工管理計画に、管理頻度や管理位置等を具体的に記載しているか。
- 社内管理基準(規格値)により管理する場合は、規格値から外れた場合の対応方法を記載しているか。
- 実務要覧に記載のない管理基準を用いる場合は、準用した基準や規程の名称を明

記しているか。

交通誘導員の配置計画図を添付しているか。

産業廃棄物処理契約書の写しを添付しているか。

(材料承諾)

使用する材料に漏れはなく、日付や有効期間は適正か。

材料承諾書にカタログ、サンプル、ミルシート、試験データ等を適宜添付しているか。

コンクリート二次製品等に据付用スペーサーを使用する場合は、材料承諾書等により監督員の承諾を得ているか。

(監督員の立会)

段階確認検査一覧表は、各作業における確認事項と確認日を記入し、写真等を添付しているか。また、机上確認の場合はその旨を記入しているか。

2) 施工管理

(工程管理)

実施にあたっては契約時の工程表ではなく、詳細な工程表を提出しているか。

遅れている工程については、原因等を精査し工程を組みなおしているか。

(出来形管理)

測定基準に基づき、測定箇所、測定数等を施工計画書に記載し管理しているか。

出来形管理図は測定箇所をイラスト等で示すほか、管理表では80%、50%のラインを入れるなどわかりやすく整理しているか。

基準高で求められている管理を丁張下りで管理していないか。

森林管理道開設工事等では、IP、センターを復元し幅員等を管理しているか。

かご積み護岸水路は、かご積みの管理だけでなく、水路の管理も行っているか。

建設廃材処理の出来形数量はマニフェスト(産業廃棄物管理票)に記載された数量ではなく、台貫伝票記載数量又は実測等により算出しているか。

(品質管理)

試験会社等から提出された成績表等は、元請者が結果を判定しているか。

下層路盤のブルーフローリング、鋼製構造物のボルト締め、コンクリートのアルカリ骨材反応等、管理項目の漏れはないか。

コンクリートの打設計画図を作成し、施工しているか。

上位規格のコンクリートを使用する場合は、上位規格で管理しているか。

モルタル吹付工のモルタル配合など、設計図書で仕様が示されていない事項については、発注者と事前協議のうえ施工しているか。

コンクリート二次製品の据付用敷モルタルを丁寧に施工しているか。

(工事写真)

出来形管理書類の数値と写真の実測値が整合しているか。

測点管理写真は、位置及び継続性が分かるように撮影しているか。

撮影目的外のものが写り込んでいないか。

黒板表示は設計値(白色)と実測値(赤色)を比較出来るように表示しているか。

測定箇所を再測できるようマーキングしているか。

検査時に測定不可部分は、出来形数値が判読できるように撮影しているか。

施工計画書の施工方法(工夫等含む)に沿った施工状況写真を撮影しているか。

締固め状況写真は、層ごとの締固め完了時に締固め機械を含め撮影しているか。

鉄筋種別等を確認できるよう、鉄筋のロールマークを撮影しているか。

鉄筋の加工組立て時に、かぶり長、スペーサー個数及び重ね継手長等を撮影しているか。

鉄筋等資材の保管状況を撮影しているか。

交通誘導員等の配置状況を撮影しているか。

3) 現場

地山や既設部分との摺り付けは、見栄えよくきめ細かな施工をしているか。

現場打コンクリートにジャンカ、砂縞、クラック等が存在していないか。

道路・水路工事における曲線部で、断面が不足していないか。

コンクリート二次製品に運搬や布設による欠け、傷、破損等がないか。

鋼製カゴ工等の中詰は、規格に合った割栗石が空隙少なく充填されているか。

森林整備の保護木の選定に区域内のバラつきがないか。

柵渠アームに対するパネルの引っかかり長を確保しているか。

柵渠犬走り等、埋戻後に沈下が生じないように十分に転圧しているか。

土質改良部分(水路基礎等)に、雑物が混入していないか。

転落防護柵と地面の隙間が、基準以上に空いていないか。

路盤上のゴミ等を片付けてからアスファルト舗装を行っているか。

舗装路肩(土法面等)を適切に仕上げているか。

道路舗装面全体について、雨水排水先を考慮しているか。

作業前に現場の安全確認を行っているか。

斜面での上下作業禁止などの安全対策が図られているか。